

- 前提：フュージョンエネルギーは**統合技術**が主導権を握る
- **D** 産業育成戦略 + **T** 技術開発戦略 × **P** 推進体制
→ **【時間軸】での視点では官と民は大きく違う**

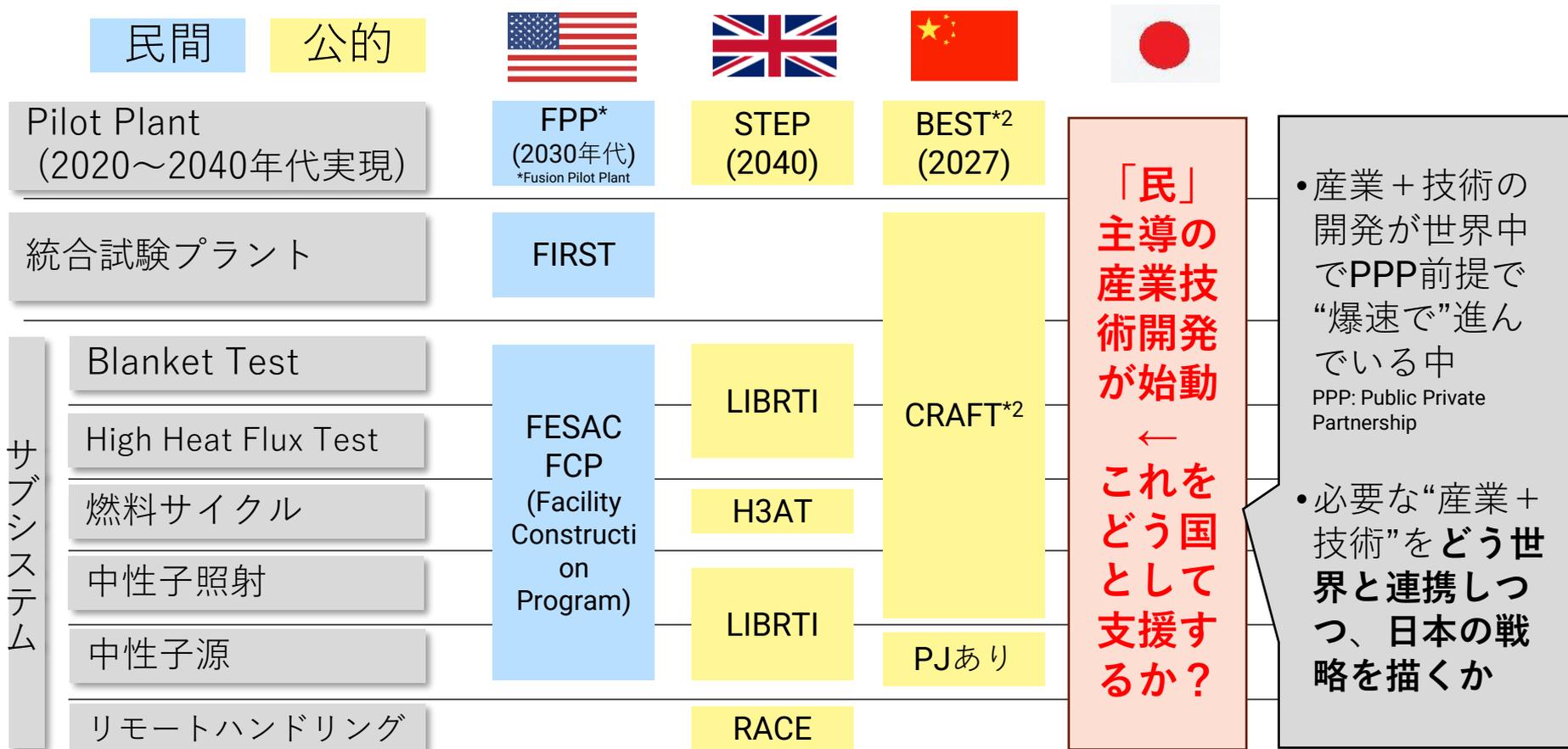
<今まで、現在> **参考1**

- 民間企業エコシステム（J-Fusion）が漸く発足
- ITER/BA計画を中心に“現時点”で競争力ある「**官**」技術
公的計画に加えて、国内でも民間の技術チャレンジが出現
- 一方で、海外では2030年代実証を中心に「**民**」産業/技術施策

<今後> **参考2**

- 公的基盤に加えて、**新しい民間活力を使い、“早く”、“効率的”に、“国内で”進める実証計画が必要ではないか**

世界各国のフュージョンエネルギー開発計画



*2公的ではあるが、意思決定構造は民間的な集中構造



開発

産業

学術

政策

- 開発戦略だけでなく、産業的施策が同期する
- “機械設備”を中心に開発も産業も進化するため、Facilityに着目

一般社団法人フュージョンエネルギー産業協議会
(通称: J-Fusion) Working Group

産業・技術マップ
開発戦略検討
情報連携
(政策WG)
(情報・研究WG)

人財育成・学術連携
(人財育成WG)

安全・規格・国際
(安全・規格WG) (政策WG)

・ 産業界同士の
・ 学術との
・ 国際との
連携基盤として
活動開始

会員数

67 (2024年7月23日時点)



● 設立総会・設立記念会を開催 (7/21)

- 本協議会の概要や今後の取り組みについて発表
- 高市早苗内閣府特命担当大臣、盛山正仁文部科学大臣をはじめ多くの関係者が出席

● 講演・イベント実績

- 4/24 : CCFE(日米核融合調整委員会) 講演
- 5/07 : 自民党フュージョンエネルギーPT 講演
- 5/15 : 在日英国大使館 講演
- 6/13 : 第15回核融合連合講演会パネルディスカッション
- 6/17 : 米国TechConnect World 講演
- 6/17 : フュージョンエネルギー推進議員連盟 講演

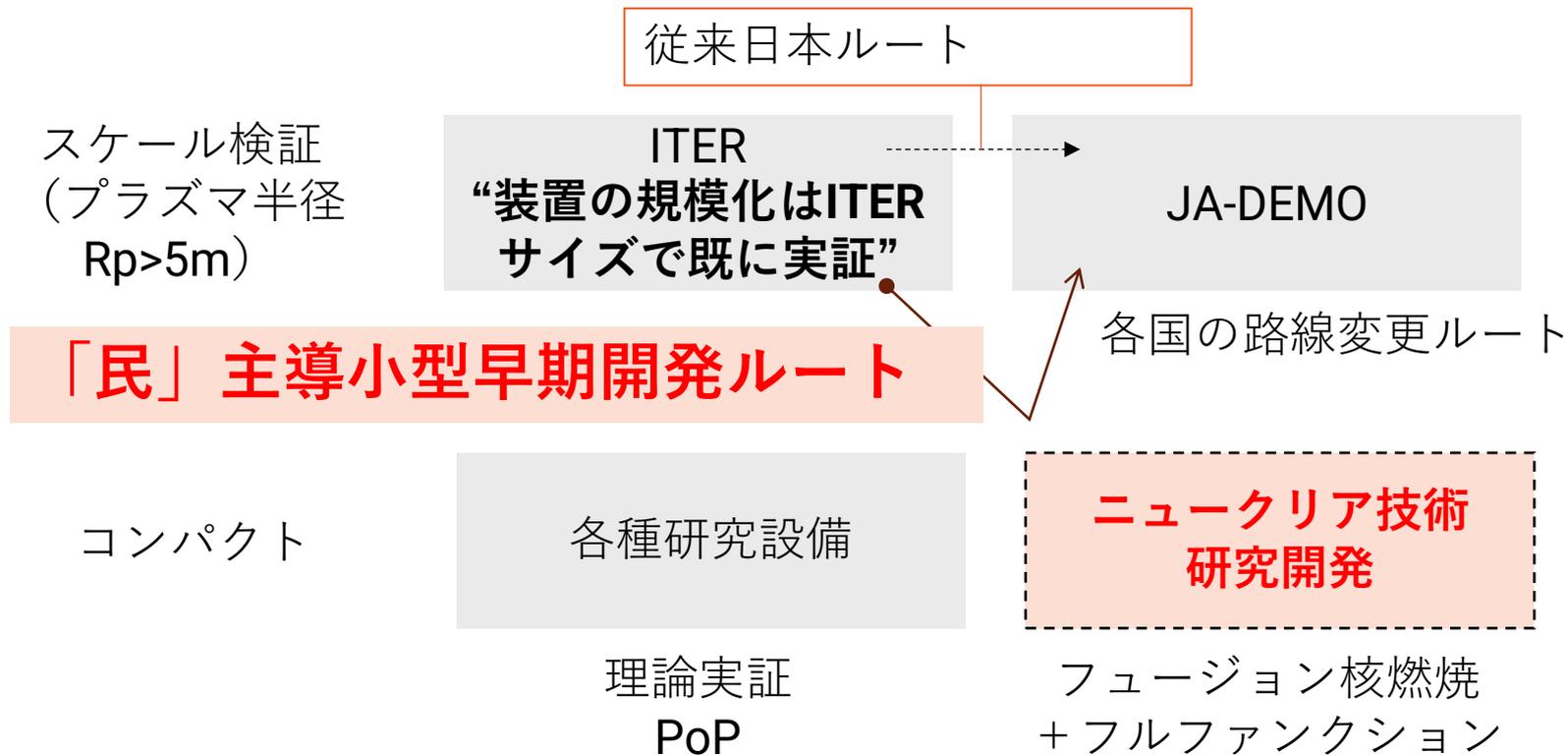


● 政策提言実績

- 6/04 : 内閣官房「知的財産推進計画2024」
 - ・ 国際標準戦略を推進する領域として「フュージョンエネルギー」を提案

必要な設備は？

→世界的に、ニュークリア試験がフュージョンのネック



- **国家計画としてのマイルストーンプログラムの検討**
(民間の速度・活力・自由な発想の活用)
- **ニュークリア試験サイト公募**
(広がり・夢のあるフュージョン産業の地域的拠点)
- **具体的早期計画に連動した規制・法体系整備**
(安全規制、公的/民間負担の分別)
- **国際連携・渉外による早期フュージョンエネルギー実現、
各国産業の公平な競争基盤**
(協調的人財育成・アカデミア知見、公平な輸出規制)

← **民間主導の開発計画への支援**